

第4章 人権問題に関する学習

4-1. 過去の人権問題で最も印象に残っている学習分野

問11 次の人権問題について学習した（または啓発などを受けた）中で、いちばん印象に残っているのはどの分野ですか。（はそれぞれ1つ）

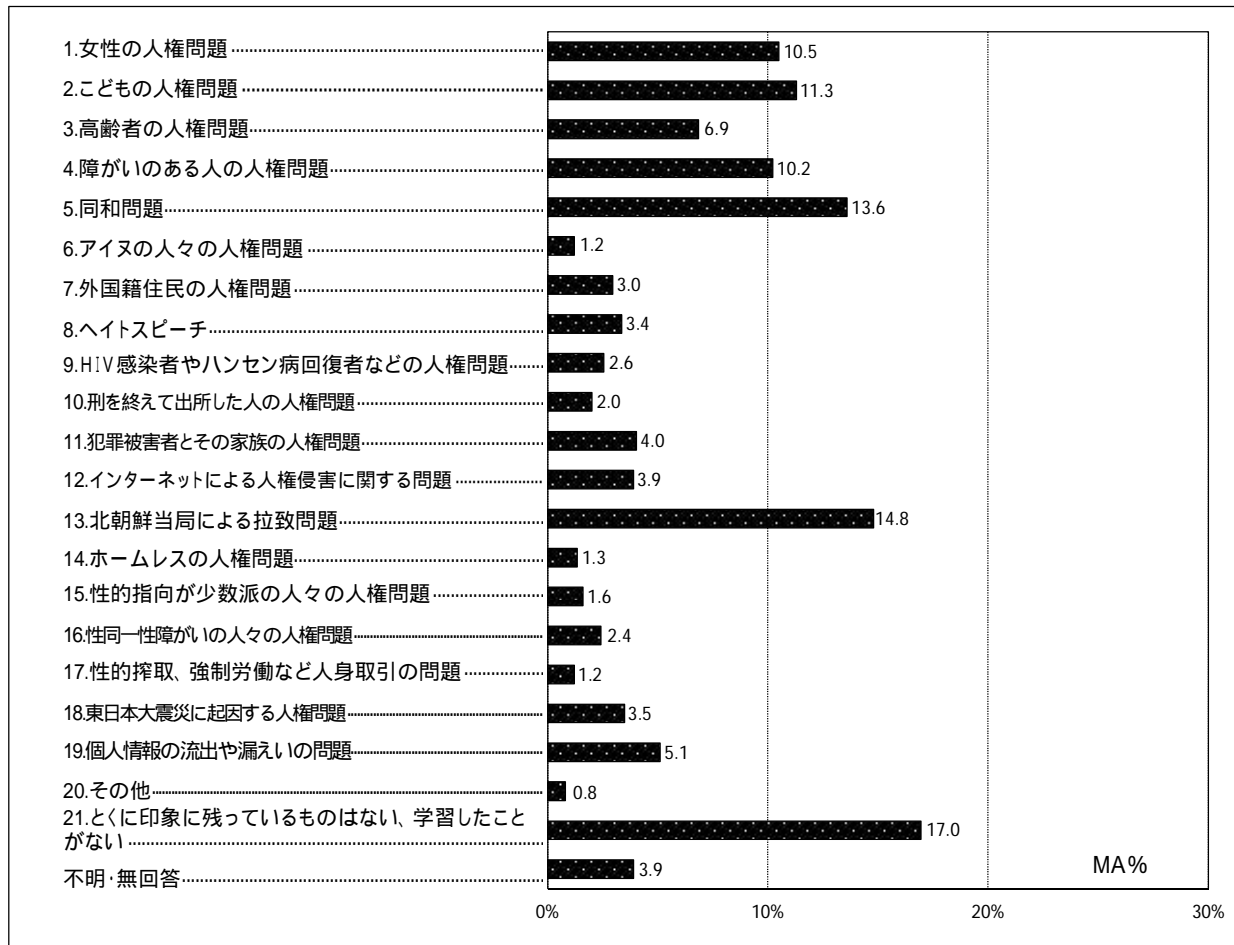
【表4-1-1 過去の人権問題で最も印象に残っている学習分野】

(上段:人、下段:MA%)

	女性の人権問題	こどもの人権問題	高齢者の人権問題	障がいのある人の人権問題	同和問題	アイヌの人々の人権問題	外国籍住民の人権問題	ヘイトスピーチ	HIV感染者やハンセン病回復者などの人権問題	刑を終えて出所した人の人権問題	犯罪被害者とその家族の人権問題	インターネットによる人権侵害に関する問題
市全体	78	84	51	76	101	9	22	25	19	15	30	29
	10.5	11.3	6.9	10.2	13.6	1.2	3.0	3.4	2.6	2.0	4.0	3.9

北朝鮮当局による拉致問題	ホームレスの人権問題	性的指向が少数派の人々の人権問題	性同一性障がいの人々の人権問題	性的搾取、強制労働など人身取引の問題	東日本大震災に起因する人権問題	個人情報流出や漏えいの問題	その他	い、学习到印象に残っているものはない	不明・無回答	合計
110	10	12	18	9	26	38	6	126	29	743
14.8	1.3	1.6	2.4	1.2	3.5	5.1	0.8	17.0	3.9	100.0

【図4-1 過去の人権問題で最も印象に残っている学習分野】



単一回答の設問であるが、複数回答が多数あったため、すべて有効とした。

人権問題について学習した中でいちばん印象に残っているものについて尋ねたところ、「とくに印象に残っているものはない、学習したことがない」と答えた人の割合が17.0%と最も高く、次いで「北朝鮮当局による拉致問題」が14.8%、「同和問題」が13.6%となっている。

性別でみると、男性では「北朝鮮当局による拉致問題」が18.7%と最も高く、次いで「同和問題」が18.1%、「とくに印象に残っているものはない、学習したことがない」が15.4%となっている。

女性では「とくに印象に残っているものはない、学習したことがない」が17.7%と最も高く、次いで「女性の人権問題」が15.3%、「北朝鮮当局による拉致問題」が12.4%となっている。

年齢別でみると、答えた人の割合が最も高いのは、10歳代、20歳代、30歳代では「女性の人権問題」であり、数値は各々30.8%、30.5%、20.0%となっており、40歳代では「同和問題」で22.7%、50歳代、60歳代では「とくに印象に残っているものはない、学習したことがない」であり、各々18.5%、21.2%となっている。また、70歳以上では「北朝鮮当局による拉致問題」で25.4%となっている。【表4-1-2】

【表4-1-2 性別・年齢別 過去の人権問題で最も印象に残っている学習分野】

(上段:人、下段:MA%)

		女性の人権問題	こどもの人権問題	高齢者の人権問題	障がいのある人の人権問題	同和問題	アイヌの人々の人権問題	外国籍住民の人権問題	ヘイトスピーチ	HIV感染者やハンセン病回復者などの人権問題	刑を終えて出所した人の人権問題	犯罪被害者とその家族の人権問題	インターネットによる人権侵害に関する問題
市全体		78 10.5	84 11.3	51 6.9	76 10.2	101 13.6	9 1.2	22 3.0	25 3.4	19 2.6	15 2.0	30 4.0	29 3.9
性別	男性	11 3.7	36 12.0	20 6.7	40 13.4	54 18.1	4 1.3	10 3.3	14 4.7	7 2.3	6 2.0	18 6.0	16 5.4
	女性	64 15.3	47 11.2	30 7.2	35 8.4	43 10.3	5 1.2	11 2.6	11 2.6	12 2.9	8 1.9	12 2.9	13 3.1
	その他、回答したくない	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	不明・無回答	2 9.5	1 4.8	1 4.8	1 4.8	3 14.3	0 0.0	1 4.8	0 0.0	0 0.0	1 4.8	0 0.0	0 0.0
		4 30.8	1 7.7	1 7.7	1 7.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 15.4
年齢別	10歳代	18 30.5	7 11.9	4 6.8	12 20.3	8 13.6	1 1.7	0 0.0	0 0.0	3 5.1	0 0.0	1 1.7	2 3.4
	20歳代	20 20.0	17 17.0	6 6.0	19 19.0	14 14.0	1 1.0	5 5.0	5 5.0	5 5.0	4 4.0	5 5.0	2 2.0
	30歳代	8 6.7	19 16.0	3 2.5	12 10.1	27 22.7	2 1.7	7 5.9	1 0.8	1 0.8	0 0.0	6 5.0	6 5.0
	40歳代	6 4.8	14 11.3	10 8.1	14 11.3	20 16.1	0 0.0	2 1.6	4 3.2	6 4.8	3 2.4	9 7.3	8 6.5
	50歳代	10 7.3	14 10.2	9 6.6	5 3.6	17 12.4	2 1.5	5 3.6	6 4.4	1 0.7	5 3.6	4 2.9	7 5.1
	60歳代	10 5.9	11 6.5	16 9.5	12 7.1	13 7.7	3 1.8	2 1.2	9 5.3	3 1.8	2 1.2	5 3.0	2 1.2
	70歳以上	2 9.1	1 4.5	2 9.1	1 4.5	2 9.1	0 0.0	1 4.5	0 0.0	0 0.0	1 4.5	0 0.0	0 0.0
	不明・無回答	9.1	4.5	9.1	4.5	9.1	0.0	4.5	0.0	0.0	4.5	0.0	0.0

北朝鮮当局による拉致問題	ホームレスの人権問題	性的指向が少数派の人々の人権問題	性同一性障がいの人々の人権問題	性的搾取、強制労働など人身取引の問題	東日本大震災に起因する人権問題	個人情報流出や漏えいの問題	その他	とくに印象に残っているものはない、学習したことがない	不明・無回答	合計
110	10	12	18	9	26	38	6	126	29	743
14.8	1.3	1.6	2.4	1.2	3.5	5.1	0.8	17.0	3.9	100.0
56	3	4	3	2	12	19	3	46	3	299
18.7	1.0	1.3	1.0	0.7	4.0	6.4	1.0	15.4	1.0	100.0
52	6	8	14	7	14	18	3	74	22	419
12.4	1.4	1.9	3.3	1.7	3.3	4.3	0.7	17.7	5.3	100.0
0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	4
0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	25.0	100.0
2	1	0	1	0	0	0	0	6	3	21
9.5	4.8	0.0	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0	28.6	14.3	100.0
0	1	0	2	0	0	2	0	1	0	13
0.0	7.7	0.0	15.4	0.0	0.0	15.4	0.0	7.7	0.0	100.0
2	1	3	1	2	1	1	1	8	2	59
3.4	1.7	5.1	1.7	3.4	1.7	1.7	1.7	13.6	3.4	100.0
9	2	4	6	3	4	8	0	11	2	100
9.0	2.0	4.0	6.0	3.0	4.0	8.0	0.0	11.0	2.0	100.0
9	0	4	2	3	3	11	4	15	1	119
7.6	0.0	3.4	1.7	2.5	2.5	9.2	3.4	12.6	0.8	100.0
19	1	1	3	0	4	4	0	23	4	124
15.3	0.8	0.8	2.4	0.0	3.2	3.2	0.0	18.5	3.2	100.0
26	0	0	1	0	3	8	0	29	6	137
19.0	0.0	0.0	0.7	0.0	2.2	5.8	0.0	21.2	4.4	100.0
43	4	0	2	1	10	4	1	33	11	169
25.4	2.4	0.0	1.2	0.6	5.9	2.4	0.6	19.5	6.5	100.0
2	1	0	1	0	1	0	0	6	3	22
9.1	4.5	0.0	4.5	0.0	4.5	0.0	0.0	27.3	13.6	100.0

職業別でみると、答えた人の割合が最も高いのは、「自営業」では「北朝鮮当局による拉致問題」で 18.5%、「民間正規雇用」「公務員、教員」「非正規雇用」では「同和問題」であり、数値は各々 20.2%、25.0%、16.5%となっている。また、「家事専業、学生、無職」では「とくに印象に残っているものはない、学習したことがない」で 18.7%となっている。【表4 - 1 - 3】

【表4-1-3 職業別 過去の人権問題で最も印象に残っている学習分野】

(上段:人、下段:MA%)

	女性の人権問題	こどもの人権問題	高齢者の人権問題	障がいのある人の人権問題	同和問題	アイヌの人々の人権問題	外国籍住民の人権問題	ヘイトスピーチ	HIV感染者やハンセン病回復者などの人権問題	刑を終えて出所した人の人権問題	犯罪被害者とその家族の人権問題	インターネットによる人権侵害に関する問題
市全体	78 10.5	84 11.3	51 6.9	76 10.2	101 13.6	9 1.2	22 3.0	25 3.4	19 2.6	15 2.0	30 4.0	29 3.9
自営業	5 6.2	10 12.3	6 7.4	11 13.6	7 8.6	1 1.2	5 6.2	6 7.4	2 2.5	0 0.0	3 3.7	5 6.2
民間正規雇用	18 9.3	19 9.8	10 5.2	23 11.9	39 20.2	2 1.0	8 4.1	8 4.1	10 5.2	3 1.6	12 6.2	6 3.1
公務員、教員	3 12.5	6 25.0	1 4.2	5 20.8	6 25.0	0 0.0	1 4.2	1 4.2	0 0.0	2 8.3	1 4.2	3 12.5
非正規雇用	11 8.7	20 15.7	9 7.1	11 8.7	21 16.5	0 0.0	3 2.4	3 2.4	3 2.4	2 1.6	5 3.9	3 2.4
家事専業、学生、無職	40 13.1	29 9.5	24 7.9	25 8.2	26 8.5	6 2.0	5 1.6	7 2.3	4 1.3	7 2.3	9 3.0	11 3.6
不明・無回答	1 7.7	0 0.0	1 7.7	1 7.7	2 15.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 7.7	0 0.0	1 7.7

北朝鮮当局による拉致問題	ホームレスの人権問題	性的指向が少数派の人々の人権問題	性同一性障がいの人々の人権問題	性的搾取、強制労働など人身取引の問題	東日本大震災に起因する人権問題	個人情報流出や漏えいの問題	その他	とくに印象に残っているものはない、学習したことがない	不明・無回答	合計
110	10	12	18	9	26	38	6	126	29	743
14.8	1.3	1.6	2.4	1.2	3.5	5.1	0.8	17.0	3.9	100.0
15	2	0	3	1	6	6	0	14	2	81
18.5	2.5	0.0	3.7	1.2	7.4	7.4	0.0	17.3	2.5	100.0
21	2	5	4	3	3	17	2	32	2	193
10.9	1.0	2.6	2.1	1.6	1.6	8.8	1.0	16.6	1.0	100.0
0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	24
0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.2	4.2	4.2	4.2	100.0
19	1	4	3	2	2	5	1	19	3	127
15.0	0.8	3.1	2.4	1.6	1.6	3.9	0.8	15.0	2.4	100.0
55	5	3	8	3	15	9	2	57	16	305
18.0	1.6	1.0	2.6	1.0	4.9	3.0	0.7	18.7	5.2	100.0
0	0	0	0	0	0	0	0	3	5	13
0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	23.1	38.5	100.0

学歴別でみると、答えた人の割合が最も高いのは、「中学卒」では「北朝鮮当局による拉致問題」と「とくに印象に残っているものはない、学習したことがない」で、ともに18.0%となっており、「高校卒」では「とくに印象に残っているものはない、学習したことがない」で20.1%、「短大卒」「大学卒」では「同和問題」であり、数値は各々17.5%、18.5%となっている。【表4-1-4】

【表4-1-4 学歴別 過去の人権問題で最も印象に残っている学習分野】

(上段:人、下段:MA%)

		女性の人権問題	子どもの人権問題	高齢者の人権問題	障がいのある人々の人権問題	同和問題	アイヌの人々の人権問題	外国籍住民の人権問題	ヘイトスピーチ	HIV感染者やハンセン病回復者などの人権問題	刑を終えて出所した人々の人権問題	犯罪被害者とその家族の人権問題	インターネットによる人権侵害に関する問題
市全体		78	84	51	76	101	9	22	25	19	15	30	29
		10.5	11.3	6.9	10.2	13.6	1.2	3.0	3.4	2.6	2.0	4.0	3.9
学歴別	1.中学校、旧制小学校、旧制高等小学校	7	9	7	7	10	2	2	5	4	4	4	3
		7.0	9.0	7.0	7.0	10.0	2.0	2.0	5.0	4.0	4.0	4.0	3.0
	2.高等学校、中学校卒業が入学資格の専修学校・各種学校、旧制中等学校	23	21	18	17	24	2	5	7	2	4	9	7
		8.7	8.0	6.8	6.4	9.1	0.8	1.9	2.7	0.8	1.5	3.4	2.7
	3.短期大学・高等専門学校、高等学校卒業が入学資格の専修学校・各種学校、旧制高等学校、専門学校	16	24	13	19	27	2	5	3	6	3	6	9
		10.4	15.6	8.4	12.3	17.5	1.3	3.2	1.9	3.9	1.9	3.9	5.8
	4.大学、大学院	31	26	11	29	37	3	9	9	5	4	10	9
		15.5	13.0	5.5	14.5	18.5	1.5	4.5	4.5	2.5	2.0	5.0	4.5
5.その他	1	2	0	2	0	0	1	1	1	0	0	0	
	11.1	22.2	0.0	22.2	0.0	0.0	11.1	11.1	11.1	0.0	0.0	0.0	
不明・無回答	0	2	2	2	3	0	0	0	1	0	1	1	
	0.0	12.5	12.5	12.5	18.8	0.0	0.0	0.0	6.3	0.0	6.3	6.3	

北朝鮮当局による拉致問題	ホームレスの人権問題	性的指向が少数派の人々の人権問題	性同一性障がいの人々の人権問題	性的搾取、強制労働など人身取引の問題	東日本大震災に起因する人権問題	個人情報流出や漏えいの問題	その他	とくに印象に残っているものはない、学習したことがない	不明・無回答	合計
110	10	12	18	9	26	38	6	126	29	743
14.8	1.3	1.6	2.4	1.2	3.5	5.1	0.8	17.0	3.9	100.0
18	3	1	3	1	4	4	0	18	6	100
18.0	3.0	1.0	3.0	1.0	4.0	4.0	0.0	18.0	6.0	100.0
47	2	1	6	1	12	15	2	53	9	264
17.8	0.8	0.4	2.3	0.4	4.5	5.7	0.8	20.1	3.4	100.0
20	1	5	6	5	3	8	1	24	5	154
13.0	0.6	3.2	3.9	3.2	1.9	5.2	0.6	15.6	3.2	100.0
23	4	5	3	2	6	10	1	27	3	200
11.5	2.0	2.5	1.5	1.0	3.0	5.0	0.5	13.5	1.5	100.0
1	0	0	0	0	1	1	2	1	1	9
11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	11.1	22.2	11.1	11.1	100.0
1	0	0	0	0	0	0	0	3	5	16
6.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	18.8	31.3	100.0

4 - 2 .人権問題理解向上のための学習方式と意欲

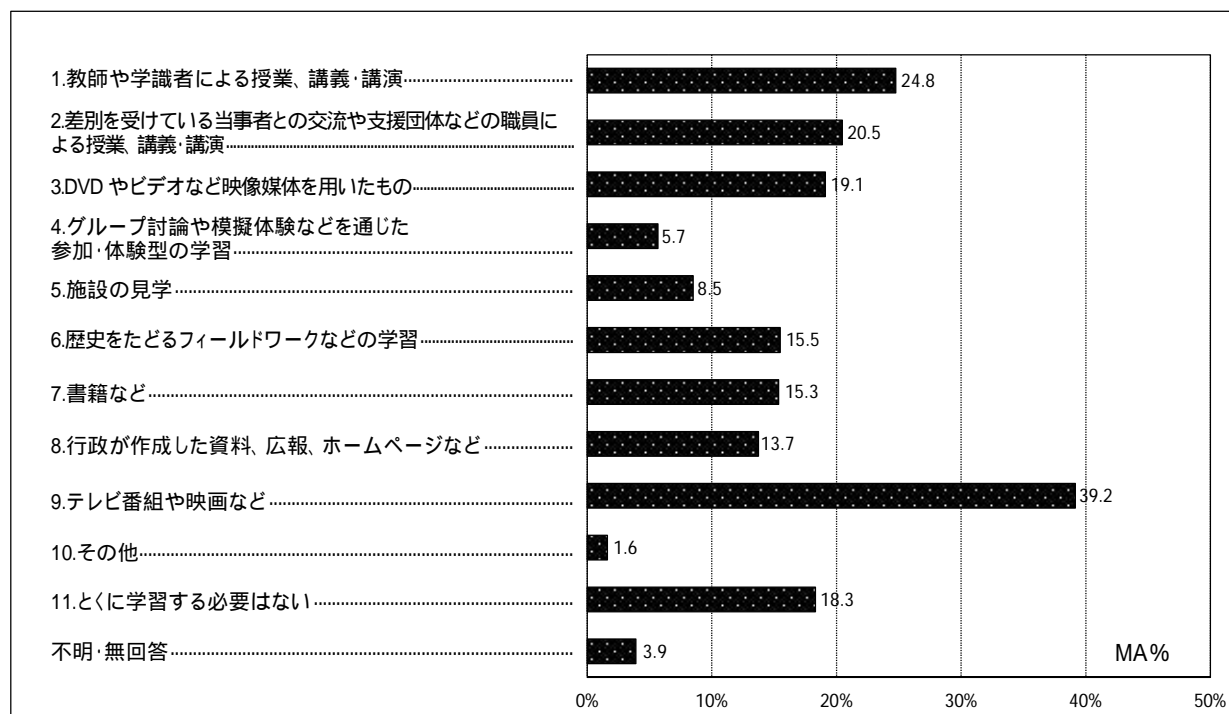
問12 あなたは、これまでの経験を通じて、人権問題についての理解を深めるために、どのような形式で、学習をしたいと思いませんか。(はいいくつでも)

【表4 - 2 - 1 人権問題理解向上のための学習方式と意欲】

(上段:人、下段:MA%)

	教師や学識者による授業、講義・講演	差別を受けている当事者との交流や支援団体などの職員による授業、講義・講演	DVDやビデオなど映像媒体を用いたもの	グループ討論や模擬体験などを通じた参加・体験型の学習	施設の見学	歴史をたどるフィールドワークなどの学習	書籍など	行政が作成した資料、広報、ホームページなど	テレビ番組や映画など	その他	とくに学習する必要はない	不明・無回答	合計
市全体	184	152	142	42	63	115	114	102	291	12	136	29	743
	24.8	20.5	19.1	5.7	8.5	15.5	15.3	13.7	39.2	1.6	18.3	3.9	100.0

【図4 - 2 人権問題理解向上のための学習方式と意欲】



これまでの経験を通じて、人権問題についての理解を深めるために、どのような形式で学習をしたいか尋ねたところ、「テレビ番組や映画など」と答えた人の割合が、39.2%と最も高く、次いで「教師や学識者による授業、講義・講演」が24.8%、「差別を受けている当事者との交流や支援団体などの職員による授業、講義・講演」が20.5%となっている。

性別でみると、男性では「テレビ番組や映画など」が31.1%と最も高く、次いで「教師や学識者による授業、講義・講演」が27.4%、「DVDやビデオなど映像媒体を用いたもの」が22.7%となっている。

女性では「テレビ番組や映画など」が45.6%と最も高く、次いで「教師や学識者による授業、講義・講演」が23.4%、「差別を受けている当事者との交流や支援団体などの職員による授業、講義・講演」が20.0%となっている。

年齢別でみると、答えた人の割合が最も高いのは、20歳代、30歳代、40歳代、50歳代、60歳代、70歳以上では「テレビ番組や映画など」であり、数値は各々45.8%、42.0%、47.9%、46.0%、32.8%、30.2%となっており、10歳代では「教師や学識者による授業、講義・講演」で76.9%となっている。【表4-2-2】

【表4-2-2 性別・年齢別 人権問題理解向上のための学習方式と意欲】

		(上段:人, 下段:MA%)																									
		教師や学識者による授業、講義・講演	講演団体などを受けている職員による授業、講義・支援	差別を受けている当事者との交流や支	もDVDやビデオなど映像媒体を用いた	参加・体験型の学習	グループ討論や模擬体験などを通じた	施設の見学	歴史をたどるフィールドワークなどの	書籍など	行政が作成した資料、広報、ホームページなど	テレビ番組や映画など	その他	とくに学習する必要はない	不明・無回答	合計											
市全体		184	152	142	42	63	115	114	102	291	12	136	29	743	24.8	20.5	19.1	5.7	8.5	15.5	13.7	39.2	1.6	18.3	3.9	100.0	
性別	男性	82	64	68	19	24	53	54	56	93	4	62	5	299	27.4	21.4	22.7	6.4	8.0	17.7	18.1	31.1	1.3	20.7	1.7	100.0	
	女性	98	84	73	23	37	59	55	44	191	7	68	20	419	23.4	20.0	17.4	5.5	8.8	14.1	13.1	45.6	1.7	16.2	4.8	100.0	
	その他、回答したくない	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2	0	4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	50.0	0.0	100.0		
	不明・無回答	4	4	1	0	2	2	4	2	7	1	4	4	21	19.0	19.0	4.8	0.0	9.5	9.5	19.0	9.5	33.3	4.8	19.0	19.0	100.0
年齢別	10歳代	10	3	7	2	2	2	2	0	4	0	0	0	13	76.9	23.1	53.8	15.4	15.4	15.4	0.0	30.8	0.0	0.0	0.0	100.0	
	20歳代	22	16	16	9	9	10	8	5	27	1	7	0	59	37.3	27.1	27.1	15.3	15.3	16.9	13.6	8.5	45.8	1.7	11.9	0.0	100.0
	30歳代	31	20	23	5	8	17	16	9	42	1	13	1	100	31.0	20.0	23.0	5.0	8.0	17.0	16.0	9.0	42.0	1.0	13.0	1.0	100.0
	40歳代	35	33	27	8	10	20	13	10	57	1	12	2	119	29.4	27.7	22.7	6.7	8.4	16.8	10.9	8.4	47.9	0.8	10.1	1.7	100.0
	50歳代	24	24	31	8	8	22	19	20	57	2	23	3	124	19.4	19.4	25.0	6.5	6.5	17.7	15.3	16.1	46.0	1.6	18.5	2.4	100.0
	60歳代	27	26	20	8	11	18	19	24	45	2	38	5	137	19.7	19.0	14.6	5.8	8.0	13.1	13.9	17.5	32.8	1.5	27.7	3.6	100.0
	70歳以上	30	25	17	2	13	24	34	32	51	4	39	14	169	17.8	14.8	10.1	1.2	7.7	14.2	20.1	18.9	30.2	2.4	23.1	8.3	100.0
	不明・無回答	5	5	1	0	2	2	3	2	8	1	4	4	22	22.7	22.7	4.5	0.0	9.1	9.1	13.6	9.1	36.4	4.5	18.2	18.2	100.0

職業別でみると、答えた人の割合が最も高いのは、「自営業」「民間正規雇用」「非正規雇用」「家事専業、学生、無職」では「テレビ番組や映画など」であり、数値は各々34.6%、38.3%、45.7%、38.7%となっており、「公務員、教員」では「差別を受けている当事者との交流や支援団体などの職員による授業、講義・講演」で50.0%となっている。【表4 - 2 - 3】

【表4 - 2 - 3 職業別 人権問題理解向上のための学習方式と意欲】

(上段:人、下段:MA%)

	教師や学識者による授業、講義・講演	支援団体などの職員による授業、講義・講演	差別を受けている当事者との交流や支援	DVDやビデオなど映像媒体を用いた	グループ討論や模擬体験などを通じた参加・体験型の学習	施設の見学	歴史をたどるフィールドワークなどの学習	書籍など	行政が作成した資料、広報、ホームページなど	テレビ番組や映画など	その他	とくに学習する必要はない	不明・無回答	合計
市全体	184 24.8	152 20.5	142 19.1	42 5.7	63 8.5	115 15.5	114 15.3	102 13.7	291 39.2	12 1.6	136 18.3	29 3.9	743 100.0	
自営業	21 25.9	13 16.0	14 17.3	6 7.4	6 7.4	13 16.0	13 16.0	8 9.9	28 34.6	5 6.2	15 18.5	3 3.7	81 100.0	
民間正規雇用	49 25.4	38 19.7	43 22.3	14 7.3	12 6.2	35 18.1	39 20.2	26 13.5	74 38.3	1 0.5	34 17.6	1 0.5	193 100.0	
公務員、教員	10 41.7	12 50.0	11 45.8	3 12.5	5 20.8	8 33.3	4 16.7	3 12.5	8 33.3	2 8.3	1 4.2	1 4.2	24 100.0	
非正規雇用	26 20.5	28 22.0	21 16.5	5 3.9	11 8.7	20 15.7	13 10.2	17 13.4	58 45.7	0 0.0	21 16.5	4 3.1	127 100.0	
家事専業、学生、無職	77 25.2	59 19.3	52 17.0	14 4.6	29 9.5	39 12.8	44 14.4	48 15.7	118 38.7	4 1.3	63 20.7	16 5.2	305 100.0	
不明・無回答	1 7.7	2 15.4	1 7.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 7.7	0 0.0	5 38.5	0 0.0	2 15.4	4 30.8	13 100.0	

学歴別でみると、答えた人の割合が最も高いのは、すべての学歴で「テレビ番組や映画など」であり、「中学卒」が40.0%、「高校卒」が38.3%、「短大卒」が49.4%、「大学卒」が34.5%となっている。なお、「大学卒」では「教師や学識者による授業、講義・講演」も同率となっている。

【表4 - 2 - 4】

【表4 - 2 - 4 学歴別 人権問題理解向上のための学習方式と意欲】

		(上段:人、下段:MA%)																
		教師や学識者による授業、講義・講演	講演	差別を受けている当事者との交流や支援団体などの職員による授業、講義・支	もの	DVDやビデオなど映像媒体を用いた	参加・体験型の学習	グループ討論や模擬体験などを通じた	施設の見学	学習	歴史をたどるフィールドワークなどの	書籍など	行政が作成した資料、広報、ホームページなど	テレビ番組や映画など	その他	とくに学習する必要はない	不明・無回答	合計
市全体		184	152	142	42	63	115	114	102	291	12	136	29	743				
		24.8	20.5	19.1	5.7	8.5	15.5	15.3	13.7	39.2	1.6	18.3	3.9	100.0				
学歴別	1.中学校、旧制小学校、旧制高等小学校	18	18	13	1	7	10	12	11	40	1	31	6	100				
		18.0	18.0	13.0	1.0	7.0	10.0	12.0	11.0	40.0	1.0	31.0	6.0	100.0				
	2.高等学校、中学校卒業が入学資格の専修学校・各種学校、旧制中等学校	45	47	36	8	18	35	34	45	101	5	56	8	264				
		17.0	17.8	13.6	3.0	6.8	13.3	12.9	17.0	38.3	1.9	21.2	3.0	100.0				
	3.短期大学・高等専門学校、高等学校卒業が入学資格の専修学校・各種学校、旧制高等学校、専門学校	45	32	35	12	10	22	23	18	76	2	18	6	154				
		29.2	20.8	22.7	7.8	6.5	14.3	14.9	11.7	49.4	1.3	11.7	3.9	100.0				
	4.大学、大学院	69	49	54	20	24	44	45	25	69	3	26	4	200				
		34.5	24.5	27.0	10.0	12.0	22.0	22.5	12.5	34.5	1.5	13.0	2.0	100.0				
	5.その他	2	2	2	0	3	3	0	2	4	1	1	0	9				
		22.2	22.2	22.2	0.0	33.3	33.3	0.0	22.2	44.4	11.1	11.1	0.0	100.0				
不明・無回答	5	4	2	1	1	1	0	1	1	0	4	5	16					
	31.3	25.0	12.5	6.3	6.3	6.3	0.0	6.3	6.3	0.0	25.0	31.3	100.0					